



epooca

静岡県男女共同参画センター・あざれあ情報誌

エポカ vol.135

2019年 8月号

この人に聞く！

『82年生まれ、キム・ジョン』 からみえる韓国社会の今

『82年生まれ、キム・ジョン』が生まれた背景

2016年に韓国で刊行された小説『82年生まれ、キム・ジョン』（著：チョ・ナムジュ 訳：斎藤真理子 筑摩書房）は、フェミニズム小説としては言うまでもなく、一般小説としても異例の100万部を超えるベストセラーとなりました。主人公キム・ジョンの半生が描かれていく中で、女性の人生にひそむ差別に基づくさまざまな困難が表現されています。精神を崩壊させていくキム・ジョンを通して、女性を抑圧している社会構造が立ち現れてくるのです。



福島 みのりさん
（常葉大学外国語学部准教授）

韓国は、男尊女卑に基づく儒教の思想が基盤だった朝鮮時代（1392年～1910年）が長く、またその後の日本の植民地時代（1910年～1945年）にも儒教思想が強化されていったこともあり、もともと女性差別の長い歴史を持っていました。

現代の韓国はこうした過去を一掃するかのように、逆にフェミニズムが発達しているといえます。女性学を学べる学部が女子大をはじめ数多くありますし、フェミニズム分野の学問的レベルは先進国といえます。軍事独裁政権時代の1970年代からはじまる労働運動から民主化運動への流れの中で女性運動が活性化し、1987年の民主化以降に高まった女性の権利や男女平等を求める運動により、新しい制度が数多く生み出されました。これまでの父系血統主義的な戸主と家族の主従関係を改めた「家族関係登録簿」（2008年）を導入し、政府機関として「女性部」（2000年に設立、2010年から「女性家族部」）に新たに設置されました。これら学問の深化や制度改革は、約30年にわたる女性たちの地道な運動や努力によるもので、このような背景のもとこの小説が生まれたことは、韓国のフェミニズム史においてエポック的だといえます。

ジェンダー意識をめぐるジェネレーションギャップ

この本は、まさに現代韓国のジェンダー意識をめぐるジェネレーションギャップを表現しているといえます。この本を読んだ人の世代別の統計をみると、女性では10代～50代まで幅広い層で読まれているのですが、男性では40代、50代を中心にしか読まれていません。10代～30代の男性はほとんど読んでいないということがわかります。

→次のページに続く

40代、50代でこの本に共感した人たちは、いわゆるリベラルな考え方の人たちで、1970年代、80年代の民主化を担った世代です。民主化運動世代の文在寅（ムン・ジェイン）現大統領もこの小説に共感し、政治家100人にこの本を贈ったというエピソードもあります。

一方、10代～30代の若い世代の男性たちの中には、ミソジニー（女性蔑視）現象が非常に強く、この小説を読んでその内容に異議を唱える人や、この本が生み出す女性擁護の風潮や社会現象に嫌悪感を募らせる人などがいます。特に20代の男性たちの中で、女性の権利への主張は男性への逆差別ではないかととらえる傾向があります。韓国は今就職難の時代で、大卒の50%くらいしか就職できない状況です。また、現政権は女性が社会でより活躍できるような政策を打ち出しているため、若い男性たちの中にはそのような政策に対し、「女性だけが優遇されており、自分たちは不利な立場に立たされている。ただでさえ男性には徴兵制があり就職が女性より遅れるのに・・・」と反発している人もいます。

韓国の状況からみえてくる日本

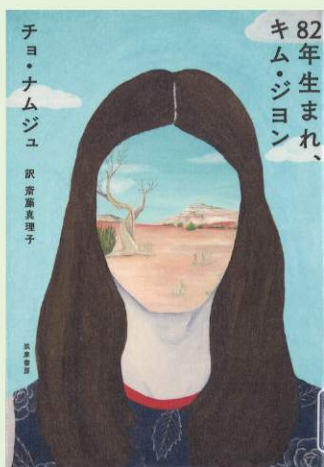
韓国では民主化運動を成功させた歴史から、現在でも環境問題、教育問題などの市民運動が非常に活発です。最近ではMe Too運動が高まりをみせていますが、1990年頃から元従軍慰安婦のハルモニたちが証言をしはじめたことが一つのうねりとなっています。また、2002年に女子中学生2人が米軍の装甲車に引かれて亡くなった事件が起きた際、10代、20代の女性たちが声を上げ、ろうそくデモを行いました。このように、韓国では人々が一体となって声を上げ、ひとつの社会運動としていくことで、意識改革や制度改革につながっているところがあります。

一方、日本では和を重んじる国民性のためか、このような市民運動がほとんど活性化せず、一過性の現象に終わってしまうこともあります。また、社会の問題として捉えられるべきところを個人の自己責任の問題として片付けられてしまう傾向もあり、結果、人々の連帯や共感が生まれにくく、具体的な施策などにつながっていかないのが現状です。また、女性に対するさまざまな社会の壁に対して、日本では「仕方がないよね・・・」というあきらめが強く、声を上げて闘うという風潮が弱いといえます。日本では、専業主婦として子供を産み育てることが女性として立派な生き方だということを内面化している女性も多いため、それ以外の生き方をしている女性たちの肩身が狭く、また両者の分断も大きいため、声が上がりにくいというのも特徴でしょう。

韓国でここまで女性運動が活発化したのは、やはりさまざまな立場の女性同士、つまり同じ境遇にあった当事者としての連帯があげられます。これは、歴史的、社会的な環境が複雑に絡み合い、それぞれの女性の生き方や考え方が多様性を持ちながら共に連帯する中で、フェミニズムが到達したひとつの形といえます。日本でもキム・ジョンがベストセラーになり、かなり反響を呼んだということは、ある意味日本の女性たちの隠れた声が少しずつ外に出てきたと捉えることができるのではないのでしょうか。こうした機会を逃さずに、少しでも女性が生きやすい社会を作り上げていく方向につなげていくことが、今の日本社会に求められているのかもしれません。

ブックサポーター46

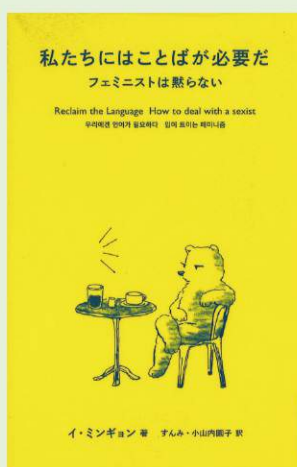
韓国のフェミニズム



『82年生まれ、キム・ジョン』（チョ・ナムジュ）

筑摩書房 2018年）

本書は韓国でミリオンセラーとなり、人々の様々な反応を引き起こしました。女性たちが「これは私のことだ」と声をあげているように、作中の女性を通して語られるのは、韓国の普通の女性たちの境遇です。それは、日本の女性たちの姿とも重なります。



『私たちに必要なのはことばが必要だ：フェミニストは黙らない』

（イ・ミンギョン）

タバックス 2018年）

「女性を経験する差別」を実感の伴わない人に説明し、理解してもらうことはとても大変なことです。差別問題についての質問に、どのように話すのか、そもそも会話を続けるかどうか、決定権は女性にあると説く著者。女性差別をめぐる会話のマニュアル本です。



あざれあ図書室
利用案内

貸出：図書5冊、ビデオ・DVD2本（2週間）

開室時間：月～金 9:00～18:00 土日祝 9:00～17:00

休室日：第1・3・5日曜日、図書整理日

TEL：054-255-8763 FAX：054-255-8759

第6回 あいのうた ～出会いから子育てまでの短歌コンテスト～

子育てのエピソードや、恋人との出会い、家族への想いを詠んだ短歌を募集します

【募集期間】 令和元年9月30日（月）まで（当日消印有効）

【募集部門】 一般の部、ジュニアの部（高校生に相当する年齢以下）

【応募資格】 どなたでもご応募いただけます。

【審査員】 俵万智氏（歌人）、田中章義氏（歌人）

【選 賞】 各部門：最優秀賞1作品、優秀賞2作品、審査員特別賞2作品、入選15作品

【応募方法】 郵便、FAX、専用HPで受け付けます。 ※詳細は、あいのうた事務局までお問合せいただくか、専用HPをご覧ください。

【応募・問合せ】 あいのうた事務局（株式会社東海道シグマ内） TEL：054-272-0206 HP：<https://ainoutatanka.jp>

【主 催】 静岡県健康福祉部こども未来課



第6回あいのうた

検索



男女共同参画社会づくり 宣言事業所・団体

メタウォーター(株) (静岡市)

宣言事業所・団体 1,592 件
(令和元年8月1日時点)

斬新な働き方改革で、より魅力ある企業に

私たちの生活になくてはならない大切な資源“水”。水をめぐるさまざまな環境が、私たちの日常生活や都市活動を根幹から支えている。

メタウォーター(株)は、水・環境分野における総合エンジニアリング企業として、国内外の水道、下水道、資源環境の各分野で事業を展開。持続的な水・環境インフラを支え、安心・安全な水環境保全を通じ地域社会に貢献している。

東京本社をはじめ、2つの事業所、38ヶ所の営業所を日本全国に展開する他、アジアやヨーロッパにも拠点を置く。静岡営業所でも18人の従業員が日々、“水”に関する課題解決に励んでいる。

メタウォーターは独自の働き方改革における取組で、従来の働き方の慣習からの脱却を目指す。

「最近、若い人を中心に、働くことに対する価値観が変化してきている、同時に多様な価値観が生まれてきていると感じています。少子高齢化による人手不足の中、より優秀な人材の確保と定着を図るために、そういった働く個々人の考え方の違いや時代の変化に応じた労働環境の整備が必要だと考えます」と、人事総務企画室 秘書グループ マネージャーの池田弘典さん。

「そのために、約2年前からトライアルを重ね、今年（2019年）6月に本格的に始動した当社のいくつかの制度は、働く社員の労働意識や家庭事情を考慮した、多様性のあるワークスタイルを提案しています。

そのひとつが、テレワーク制度の導入です。全社員を対象とし、勤務場所や時間など希望に応じて柔軟に選択できる制度となっており、現在、約10%の社員が利用しています。個々人にとって、より働きやすい環境を整えることで、仕事のパフォーマンス向上や、ワーク・ライフ・バランスの実現を進めるといった狙いの他に、働き方における多様性をお互いに認め合うための意識改革も同時にできればと考えています。

その他、サテライトオフィスの設置も進めています。全国で7か所の事業所／営業所内外に通称「アイランド」を設置、長時間通勤者や出張者などが時間を有効活用したり、日常の職場から離れた場所（「島」）で、リフレッシュしたりすることで新しい発想を生み出したり、さまざまな仕事の場面で活用することを目指しています。

また、昨年度からトライアルを行ってきた週休3日制を導入しました。規定の勤務時間を満たせば必ずしも週5日勤務しなくてもよい制度で、制度利用者からは、「仕事の効率性への意識が向上した」、「私生活のスケジュールに選択肢が増えた」などの声を得て、手ごたえを感じています」

静岡営業所 所長の南澤高男さんは語る。「組織の成長は、社員の公私にわたる成長や充実感とつながっていると考えます。社員が仕事面で各自成長しながら、やりがいを持って働きつつ、プライベートな時間も充実していくことをサポートする環境を整えることが、一人ひとりの生産性を高め、社員個人と会社がともに成長していくことになるのです。当社の働き方改革への取組はまだ始まったばかりですが、これから静岡営業所をはじめ、組織全体に多様な働き方への意識の醸成を図っていきたいです」



左から、静岡サービスグループ マネージャー 寺嶋 久貴さん、
静岡営業所 所長 南澤 高男さん、
人事総務企画室 秘書グループ マネージャー 池田 弘典さん

地元のハンサムウーマン ～地域力を高める女性たち～

佐野 敦子さん（農業生産法人 有限会社「佐野ファーム」 専務取締役／森町）



農業の未来を模索

プチプチした粒から甘い旨みが口いっぱいに広がるトウモロコシ「森のおおきみ」。5月末から約1ヶ月間限定の旬の味覚を求め、遠方から佐野ファームを目指し森町へと足を運ぶ人も多い。朝早くから行列ができるほどの人気で、午前中には売れ切れてしまうこともしばしばあるこのトウモロコシは、生でも食べられると評判高い。佐野ファームの農産物はおいしさだけではなく、有機 JAS 認証・JGAP 認証・しずおか農水産物認証を取得している新鮮かつ安全にこだわった農産物は安心して食することができる。

佐野敦子さんは、約16年前に夫の元洋さんと共に佐野ファームを立ち上げ、以来、これからの農業のあり方を模索してきた。

「当社では現在、19人の社員と4人のパート社員が働いています。若い社員たちと話しをしていると、働き方に対する考え方が時代とともに変化していることを実感します。最近では、仕事と私生活のバランスを取ることで人生を充実させたいと考える人が多いようです。この点で当社は、会社経営だからこそのメリットがあるといえます。多くの家族経営の農家では仕事と私生活の線引きがなかなか難しいと思われるのですが、会社経営では労働時間数や年間休日数などの労働条件による雇用契約を通して公私の線引きがしやすいのではないのでしょうか。伝統的な農業を継承していくことは文化としてとても重要ですが、経営学や男女共同参画の考え方など新たな視点から、時代に即したより充実した生活のあり方を模索する必要もあると感じています。

トウモロコシの収穫・販売時期が終わり、現在、社員は本人希望優先で仕事に支障が出ないようにシフトを組み、夏休みを取っている最中です。8月末からレタスの種まきが始まるまでゆっくり充電し、自分自身の人生を充実したものにしてほしいです。私も、農業人としての社員の成長を見守りながら、安心・安全な農産物の栽培への挑戦、環境への配慮、人材育成など、農業を通してより充実した人生を追求していきたいです」

あざれあ相談

悩んだとき、困ったときは、あざれあへ

女性相談 すべて女性の相談員、医師、弁護士による相談です。安心してお電話ください。



0558-23-7879 賀茂
055-925-7879 東部
054-272-7879 中部
053-456-7879 西部

※混み合う場合がございます。時間をあけておかけ直してください。

月・火・木・金 9:00～16:00
水曜日 14:00～20:00
第2土曜日 13:00～18:00
※いずれも、日・祝を除く

面接

要予約・託児つき・無料
あざれあ女性相談の番号におかけください。

月	火	水	木	金
DV・ その他暴力 10:00～ 15:00	第3 弁護士相談 13:00～ 16:00	DV・ その他暴力 14:00～ 19:00	DV・ その他暴力 10:00～ 15:00	偶数月第4 精神科医相談 14:00～ 16:00

男性相談 生き方・家族・仕事・健康等の悩み、男性相談員が対応します。

毎月第1・3土曜日 13:00～17:00

※つながらない場合は、少し時間をおいてかけ直してください。
※第1・3土曜日が休館日の場合、次週の土曜日に実施します。

専用電話 054-272-7880